

ふるさと風のふり

防災特集号
No.4

令和8年4月

第二地区まちづくり協議会会誌

松阪市 「地域の元気応援事業」の地域力アップ部門で「第二地区」が採択されました。



「地域の元気応援事業」は、住民による取り組みの実現に必要な活動資金を行政、民間企業がサポートする仕組み。書類による一次審査、公開プレゼンによる二次審査を経て、交付団体が決定されます。第二地区からは、**防災のまちづくりWG**で応募し、2月7日に開催された審査会において、見事「地域力アップ部門」で採択され、今年度の防災備品の財源となる20万円を獲得しました。



第二地区は、「遊び心で継続性のある防災のまちづくり」について発表しました。

左から牧野副会長、大山事務長、プレゼンは伊藤防災士(南町)です。

「災害時のトイレ事情について」

防災講演会の詳しい内容についてお知らせします



～トイレ確保は命綱～

防災ボランティア「春告鳥」代表 三浦洋子さん

大地震が発生して6時間が経ちました。避難所で「トイレに行きたい」「トイレは長蛇の列」「もう我慢の限界」あなたは、どうしますか？



参加者同士で意見交換

結論

日頃から「自分のトイレは、自分で確保」

<皆さんから出た回答例>

- ①列に並ぶ。
- ②我慢出来ないのだから立入禁止のトイレに黙って入る。
- ③建物の陰で、こっそりしてしまう。
- ④人が居ない場所を探して、屋外でしてしまう。 など

その結果



これが現実

～能登半島地震被害から分かったこと～

「震度7」「津波」「液状化」が発生

- ～インフラ回復時期～
- ・電力 1ヶ月
 - ・水道 2ヶ月～5ヶ月
 - ・ガス 1週間

3日以内
の回復は
ほぼ無理

災害関連死 (命が助かったのに・・・)

707人(内災害関連死479人) 68%

- ①被災のショック
- ②避難所生活の肉体的・精神的負担

生活環境 (T・K・B)の改善が大事

T=トイレ K=食(キッチン) B=睡眠(ベット)

～仮設トイレ・簡易トイレ～

普段から組み立てや使い方のスキルアップが大切



～ご家庭で一度、体験してみましょう～



<持っているだけではダメ！一度使ってみて下さい>

- ①**使い方** 知っていますか？
- ②**凝固剤**は、ちゃんと固まりますか？ 何回分ですか？
- ③**ビニール袋**から水分が漏れませんか？
- ④**臭い**は大丈夫ですか？ (何日分も溜りますよ)

- ・災害時も**日常時と同じようにトイレに行く必要があります。**
したがって十分な数の準備が必要です。
- ・避難所にある備品は直ぐになくなってしまいます。

もしも？の時のトイレの使い方

家庭にあるゴミ袋・新聞紙を使ったトイレの使用方法です
新聞紙の代わりに紙おむつや
ペット用トイレシート
「猫の砂」も利用できます。

※「凝固剤」が、なかったり、
使い切った場合の方法も
覚えておきましょう。

※黄色のゴミ袋は、松阪市指定
の「家庭用可燃ゴミ袋」です。
<防災ボランティア 春告鳥>



①新聞紙2,3枚と45ℓの
ポリ袋2枚を用意する。



②便座を上げ1枚目のポリ袋
を便座に覆うように被せる。



③便座を降ろしてポリ袋を
固定する。



④2枚目のポリ袋を便座の
上から被せる。



⑤新聞紙をクシャクシャにし、
広げて便座の中に十字に重
ねる。



⑥細かく破いた新聞紙を手で
丸め、便器の中に色ける。



⑦用を足したら塩素系漂白剤
を数滴垂らし、上の袋のみ
を外し口を結ぶ。

分別は燃えるゴミ

～避難所のトイレ～ 汚い・臭い・暗い → あなたの力で「環境改善」を！



- ①使用方法の徹底 (ゴミ処理も)
- ②トイレ案内
- ③犯罪防止(全員ホイッスル)
- ④清掃の当番制など

「元気応援事業」で採択された事業は、以下のとおりです。

遊び心で継続性のある防災のまちづくり

1 防災スキルカード

このカードは、
一人ひとりの防災
ポイントを記録します。



私たちの防災ス
キルは、カード
の色でわかる
よ！

講習会や防災訓練への参加で **ポイントを獲得!**
獲得したポイントに応じて、金・銀・銅に
色分けされたカードが付与されます。

2 体験型複合防災イベント

避難所となる体育館で、子ども・家族と
一緒に宿泊体験をしてみよう。

実際に体験する
ことで分かる
こともある。

災害への備えのレベ
ルがアップします。



カードのイメージ

カード裏面には、
受講履歴と
ポイントの記録



人間が大自然の中で、
生きていることを学
び、インフラが無い
生活を体験する。



ゲーム感覚で「防災を学べる」

- (1) 防災キッチン (ポリ袋クッキング) ポリ袋に食材を入れ湯煎で調理
- (2) お湯が沸かせず、水だけで「カップ麺が食べれるか実験しよう。
- (3) 火災の有毒ガスから身を守って前進する訓練「イモ虫リレー」
- (4) 毛布担架リレー
- (5) 身近にある紙で、プライベートテントを作ろう。
- (6) 防災クイズラリー コースの途中にクイズパネル、全問正解を目指します。
- (7) 紙でコップを作ろう。
- (8) 車中泊を想定した、エコノミークラス症候群の予防体操
- (9) 起震車による強い地震体験 など

(講習内容の一例)



発行 第二地区まちづくり協議会 〒515-0033 松阪市垣鼻町633

電話 0598-20-8402 (協議会)
0598-23-6107 (センター)

Fax 0598-23-2184

URL <http://dai2.life.coocan.jp/>

